

一休和尚は、いとけなきときより①常の人には変はりたまひて、利根発明なりけるとかや。師の坊をば養叟和尚と申しけり。こびたる檀那ありて、常に来たりて和尚に参学などしはべりては、一休の発明なるを心地よく思ひて、折々はたはぶれを言ひて、②問答などしけり。

あるとき、かの檀那、皮袴を着て来たりけるを、一休、門外にてちらと見、内へ走り入りて、③へぎに書きつけ、立てられけるは、
この寺の内へ、皮のたぐひ、固く禁制なり。もし皮のもの入るときは、その身に必ずばち当たるべし。

と書いておかれけり。

かの檀那これを見て、「皮のたぐひにばち当たるならば、この④お寺の太鼓は何としたまふぞ。」と申しけり。

一休聞きたまひ、「さればとよ、夜昼三度づつばち当たるあひだ、その方へも太鼓のばちを当て申さむ。皮の袴着られけるほどに。」とおどけられけり。

問一 傍線部①とあるが、一休和尚は普通の人とはどのような異なっていたのか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 身長が高かった。 イ 体重が重かった。 ウ 足が速かった。 エ 頭が良かった。

問二 傍線部②とあるが、誰と誰が問答をしていたか。当てはまる人物を二人選び、記号で答えなさい。

ア 一休和尚 イ 常の人 ウ 師の坊 エ 養叟和尚 オ 檀那

問三 傍線部③とあるが、へぎ板に書き付けた内容は何か。当てはまる箇所を本文中から抜き出し、始めと終わりの五字を答えなさい。

問四 傍線部④とあるが、檀那はなぜ「太鼓」の話をしたのか。二十字以内で答えなさい。

問五 この本文に出てくる「ばち」には二つの意味が込められている。その意味を表す漢字を二つ答えなさい。

【解答】

問一	エ	問二	ア	オ
問三	こ	の	寺	の
問四	太	鼓	に	動
問五	罰	・	撥	
	ら	。		物
				の
				皮
				が
				使
				わ
				れ
				て
				い
				る
				か